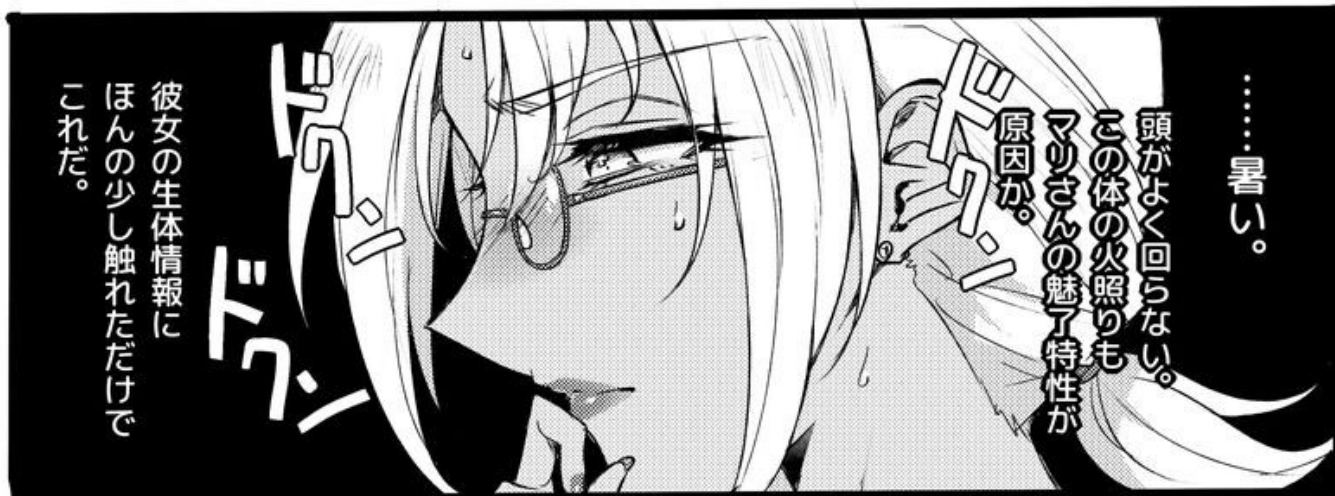


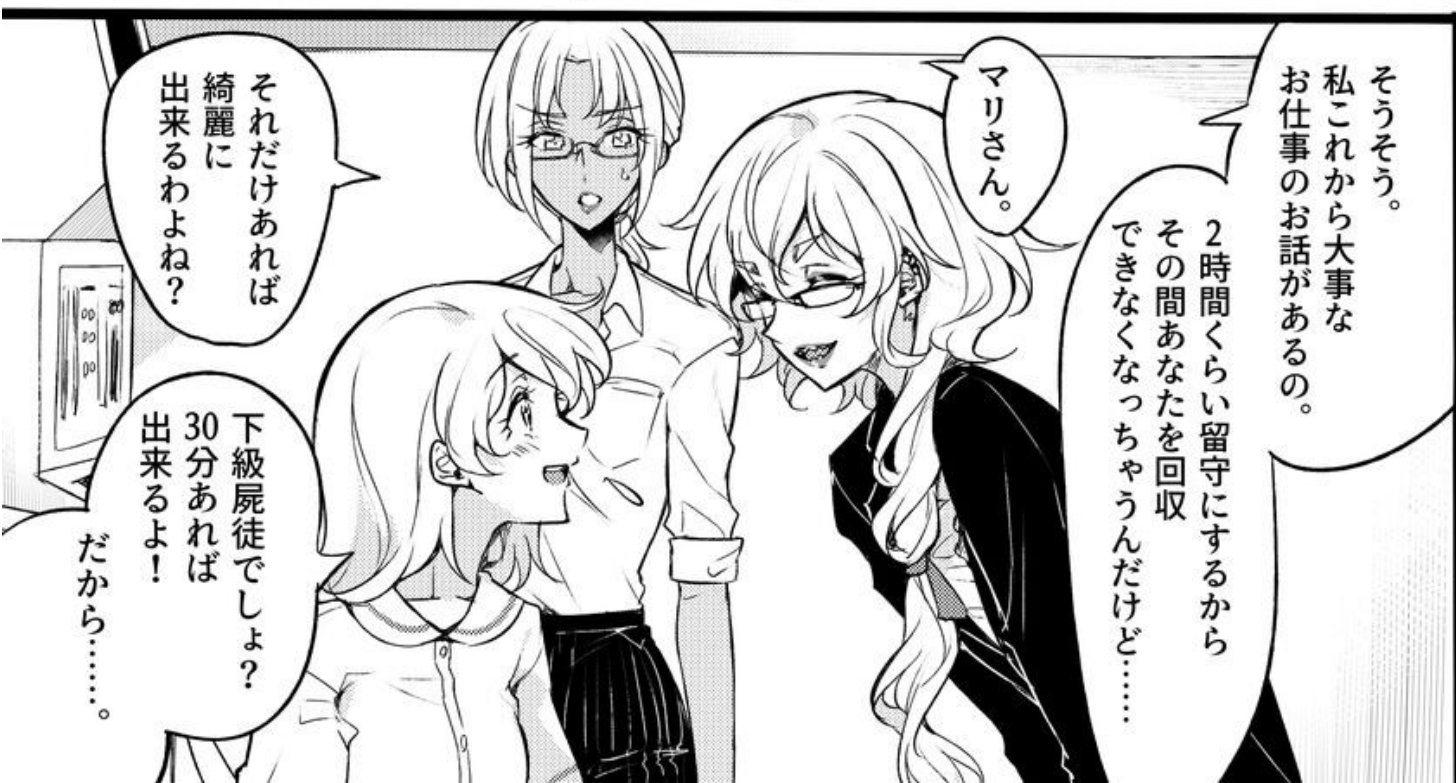
「道化の騎士ララ・ウィステリア File:10」

©BINBOU YUSURI EXPRESS / Mochimako

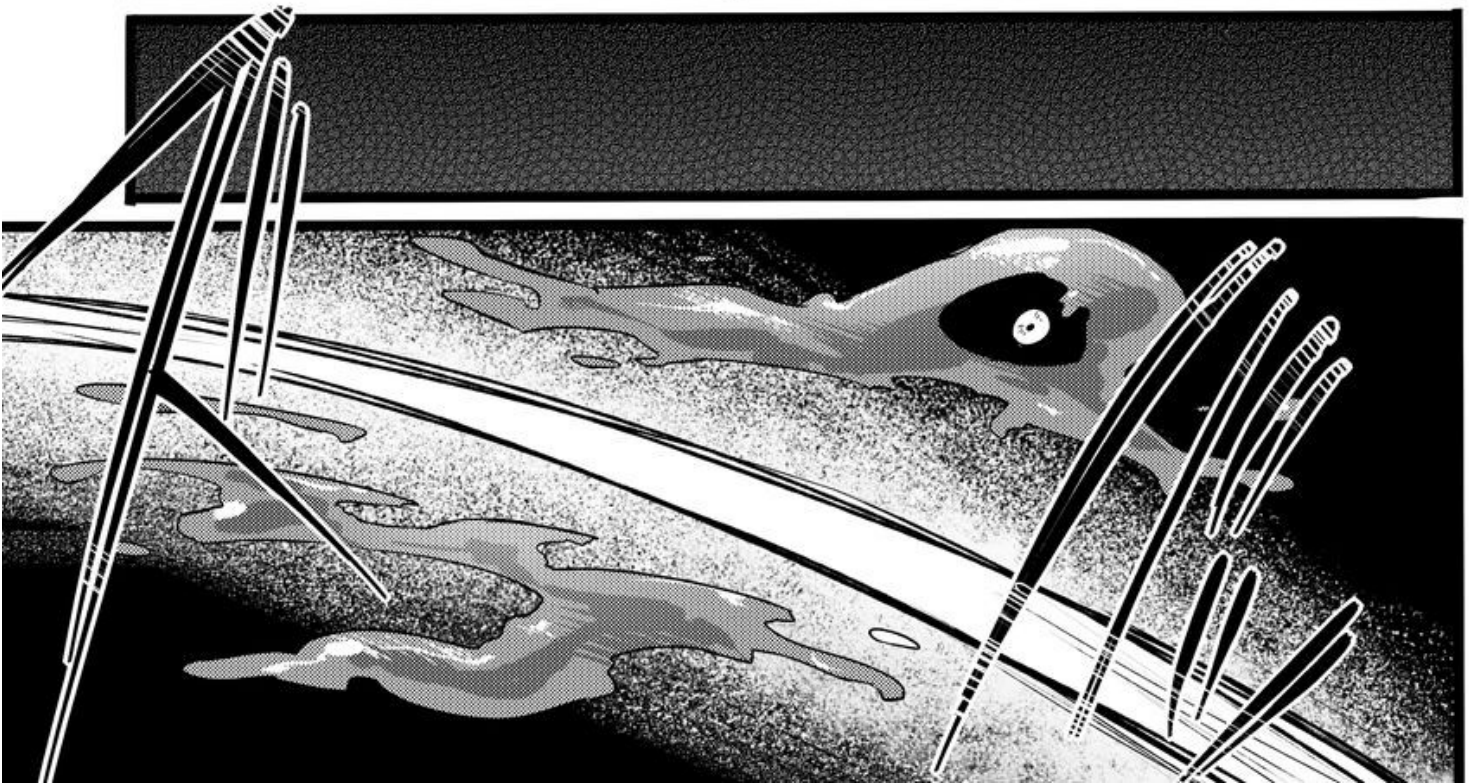












お母さん……やっと会えたのに
すぐにお仕事に行っちゃったな

この間焼いてくれた
スコロンがおいしかったとか、

また一緒に遊びに行きたいとか
色々お話ししたかったのに……

残りあと
何匹か……

でもたぶんまだ
20分くらいしか
経ってないよね……

あんまり見ないようにしてんだけど……

こいつを見ていると
ドキドキしてきちゃう……

浄化が済んでないからかな？
なんだが熱く……

あいつにこんなことやこんなこと……

私がされてきたことを思い出して……



これで最後の
一匹だ……。



時間はまだ
いっぱいある……。



早く帰ってもどうせ
お母さんはいないし……
こんなやつすぐに倒せるんだから……



だから……少しづつ……



あっ……

うしろから
襲われても……

あっ……!!



ああああああああああ!!



吸い付いてくる……

あっ♡

あっ♡

こいつらのドロドロしたものを
塗りたくられて……

いせっ♡

無理矢理にね回されてるのに……っ



それだめえっ♡



んっ……♡

ああ……手が勝手に……♡

もど

あああっ……!

気持ちいい……っ♡

イッちやう……♡ イッちやうっ♡

イっっとなる……♡

ああああ……♡

だめなのに……

こんなことだめなのに……っ!

もっ……

もっとしてほしくなっちゃう……

はっ♡

はっ

誰も見てないし……

はあっ♡
ああ……

少しくらいこんなこと
しちゃってもバカない……
よね……？

んっ♡
んっ……！

いっ
ほっ

いっ
ほっ

あッ……！

あっあああ
ああ……！♡

大丈夫……

大丈夫……♡

負けてもお母さんは
怒らないもん……



やっぱり指じゃ届かない……。

うっ
うっ……♡

ちが……

もっと大きくて太くて長くて……
めてえ……！

はあ

はあっ
はあっ♡

はあ
中をぐちゃぐちゃにしてくれる
ゴリゴリしたものがほしいっ……♡

こ……
こ……♡

ねえ……
こ……

それ……

そう……っ
大きくなって……

いれ、て……♡

こ……

私、
何てい……っ……。



ひゃー……♡

ぬふふふ

んんん……♡



入って……

くさっ

あ……♡



あああああああああっ!!!

♡♡♡♡♡

ニャアッ♡

10



はあああ……♡

いれただけで
こんなっ♡

はっ♡

すっ……♡

かっ



私……どうしちゃったんだろ……

あっ……！

あっ……
あ……

いや……
抜かないで……っ。

こんなこと、
いやだったはずなのに……。

ほ
ほ

うっ……

自分からこんなこと……っ♡

あっ♡
あああ……





私の中にあの白いつ
いっばい出すつもりだ...♡



中で震えて
大きくなってるのがわかる...♡



出っっ...
出っっ...♡

私の中にたくさん注いで
気持ちよくしてほしい...♡♡



出されたい...♡
出してほしい...♡

私の中に
出して...♡
ぐちゃぐちゃに
かき回して...♡

白いのでいっぱいこ
してほしいの...♡

ララを……

イかせて……っ♡♡

あすっ♡♡
あすあすっ♡♡

あああああすっ!!♡♡

トビさちやう……!!♡





ああ……♡

ああ……

びゅーびゅー
出されちゃってる♡

なかあ……♡
あつ……♡

中に浴びせられるのがやっほり……♡

か……♡

か……♡



一番
気持ちいい♡



そのまま私は……

あつ！
あつ♡

こいつに負けたふりをして
何度も何度も中に
出されてイカされて……

んっ♡

むね……♡

カ……♡
カ……♡

気持ちいいことを
いっぱいされてしまった……♡

はあ…♡
きもちい…♡

??

簡単に倒すことが
出来た相手なのに…

ドロォ…

自分から求めて

こんなことをされちゃった
んだ…♡

もっとあつ…

あああつ…!!

これがミミエの言っていた
「本当のセックス」なのかな…

望んだ相手とする…

あの屍徒が
言っていた
ように…

君はいずれ
自らボクらを
求めてくる。

私は屍徒が
いなければ
もう…

あつ…♡



屍徒じゃないと...もう...

どろどろ

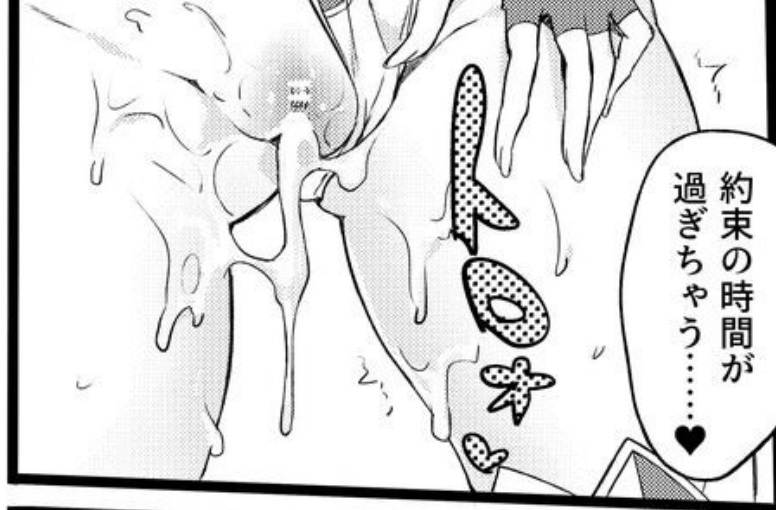
あっ♡ん♡う♡う♡う♡う♡う♡う♡

ぐちゃぐちゃ

びしょ

イッちゃっ...

あっ♡





待ってたわ
マリ!



ねえ……
疼いちゃって
しょうがないわ。

もう待ちきれないの。

はぁっ

はぁっ

ふっ

ふっ

ふっ

早く
エッチしましょ♡

早くっ♡♡



……バカじゃないの？
私がそんなので
喜ぶと思った？

戻りなさい
エイビス。

ありゃー！

マリちゃんは
フローラさんみたいな美人の
お姉さんが好きみたいだから
そっちの姿の方がいいと
思ったんだけど……

そんなに怒られると
思わなかったなあ。
こういうフローラさんは
解釈違いだった？

マリちゃんの
性癖聞きたい
なァ。

教えてくれたらもつと
上手にまねてみせるよ。

それとも
最愛の彼女は
やっぱり特別？
本人じゃないと
満足できない？

……。
仕事の話を
するわよ。

貴方の
ご所望のものは
揃えたわ。

それにここ最近の
ララの実験映像は
収めているから、
あとは勝手に
使いなさいな。

やったー！

今晚のオカズは
これで決まりだね！

夜更かし決定！

貴方も難儀ね。
そんなものでしか
楽しめないの？

いやいや
そんなことはないし、

映像そのものには
実はそれほど
興味はないんだよね。



難儀なのは
マリちゃんも
同じってワケ。



でも安くない額
払ってでも
手に入れたい
もののさ。
なんせ
マリちゃんが
楽しんだ映像
なんだからね。



あれれ？

もう濡れてるね
マリちゃん。
さっきまでオナってた？

しないわよ。

ただ……
ミシエルがいい格好
だったから、

少しは考えたわ。



……
今回は前払い？

シワになるから
スカートはあげてほしく
ないのだけれど。

まあまあこっちのが
エッチなんだからさあ。

マリちゃんが俺に何を
頼もうとしているのかは
知らないけど、
また面倒ごとだろうからね。
先にお代は頂いておくよ。

わははー

マリさんったら
いけない人だ！

……

貴方、
本当に中は全然
似せられないのね。

中？

俺が似せられるのって
見た目と声だけだから
おまんこの具合までは
さすがに再現できないな！

そうじゃないわよ。

でもまあ……

その姿はいいわね。

彼女はこんなこと
してくれなかったから。

ただ女性の体だと
生やせないから
チンチン入るときは
戻らせてね♥

俺はマリちゃんの
オナペットだからね！
いいように使って
くれていいよ。



ええ……。
好きになさい。
ミシエル。

ああ…私…
やっぱり……。

本当の貴女が
欲しいわ……。

● マリ・フジサキ(仕事着)

『マリ・フジサキ』が外部の人間と交流する際の服装。
……なのだが、特に『エイビス・ロウ』との接触では
脱衣が伴うため形式的な側面も強い。

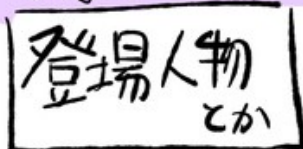
余談だが、普段の『マリ・フジサキ』は化粧の類を一切しない。というのも、容姿を整え着飾るなど普遍的に美とされる基準に添うことは、彼女のイラミザが持つ魅了特性の効果が強く発揮されることとなり、より多くの他者の惑乱を招くからだ。

日常生活に支障が出るほどの他者からのプライベートなアプローチを避けるべく、彼女は極力「身だしなみに無頓着で不愛想な垢抜けない女」であることに努めている。

しかし、それでも結果は作中で見られるとおりである。



おまけ



● エイビス・ロウ

特定の人物の姿や声をまね自由自在に"化ける"ことが出来る「変身特性」を持つ、長身瘦躯の若く美しい「男性」……と便宜上呼ぶが、この姿も彼自身が性の対象とする女性をより惹きつけやすくするために用意し変身した「デフォルトの姿」でしかなく、本来の性別や容姿、年齢などの一切が謎に包まれている人物である。

変身特性は全人口に対し数百人程度しか保有が認められないとされている希少かつ強力な特性である。特性保持者によって真似ることができる範囲には差があるが、『エイビス・ロウ』の場合、実際に目にした相手の容姿や声までは難なく真似ることが出来る。

しかし、目に見えない部分……例えば衣服で隠れた肢体などは再現できないため、その他の細部は彼の想像で補完される。その人物をよりよく知る者であれば変身を見破ることが可能といった具合だ。

『マリ・フジサキ』に魅せられ彼女との取引を長らく続けているが、「支払い」は互いに性行為で済まされることも少なくなく、彼は『マリ・フジサキ』の好む女性の姿で、『マリ・フジサキ』は彼が望む女として行為に及ぶことでそれを成している。

本編は『マリ・フジサキ』が支払う場面だったのだが、その際『エイビス・ロウ』は女性の姿に変身している。『フローラ・ユスラ』の姿をとったことがスベってしまったことへの謝罪と、そもそもの『マリ・フジサキ』への愛情からサービスしたようだ。

● ミシェル・ロナス(ラフ着)

普段の服装からベストを脱ぎシャツをはだけたラフな姿。涼しく着崩しているのは『マリ・フジサキ』の魅了特性による情欲への作用が体温の上昇を招いたためだが、普段の彼女はベストを脱ぐことを想定していないインナーのチョイスをしているため、この姿では恐らく下着の類が透けて見えてしまう。胸元が露出していたこともそうだが、それを失念しこの姿のまま職務にあたっていたことで、『マリ・フジサキ』からあのような言葉をぶつけられた形だ。

ちなみにFile:08で『マリ・フジサキ』が触れたとおり、『ミシェル・ロナス』は時にメンズのシャツを着用する。今回本編で彼女がプライベートの話をしてくれたが、そのボーイフレンドから借りたものである。長身の『ミシェル・ロナス』と背丈も変わらず、また細身の青年であるために彼女が着てもそれほどオーバーサイズにならずに済むようだ。



● ジャネット・ブリーズ

[フジ機関]の研究を受け持つ『ミシェル・ロナス』の護衛を担う、情報の番人とされる細身の女性トランサー。識字に難があるらしく研究は専門外である。[イラミザの戦士]のひとり。

『ミシェル・ロナス』のことを「相棒」と呼ぶが、彼女からは「幼馴染」と呼ばれている。しかし『ジャネット・ブリーズ』自身は貧民街の出身を自称しており、富裕層の住む地域を出身とする裕福な家庭の一人娘であった『ミシェル・ロナス』と接点があったとは考えづらい。

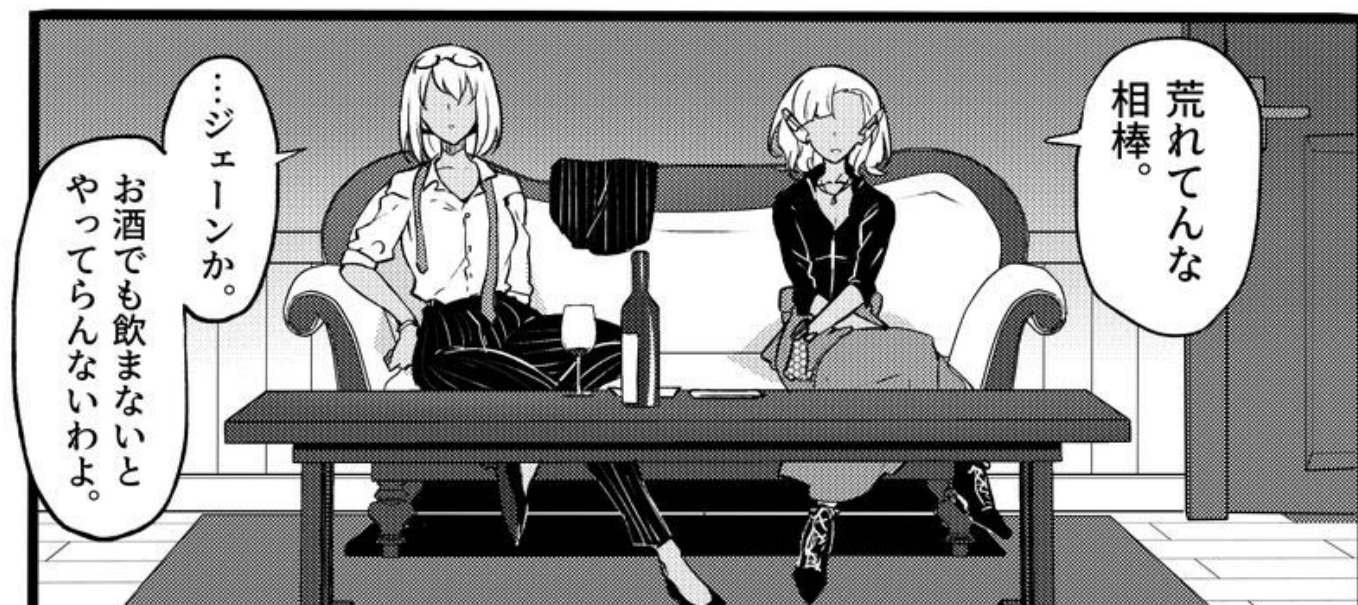
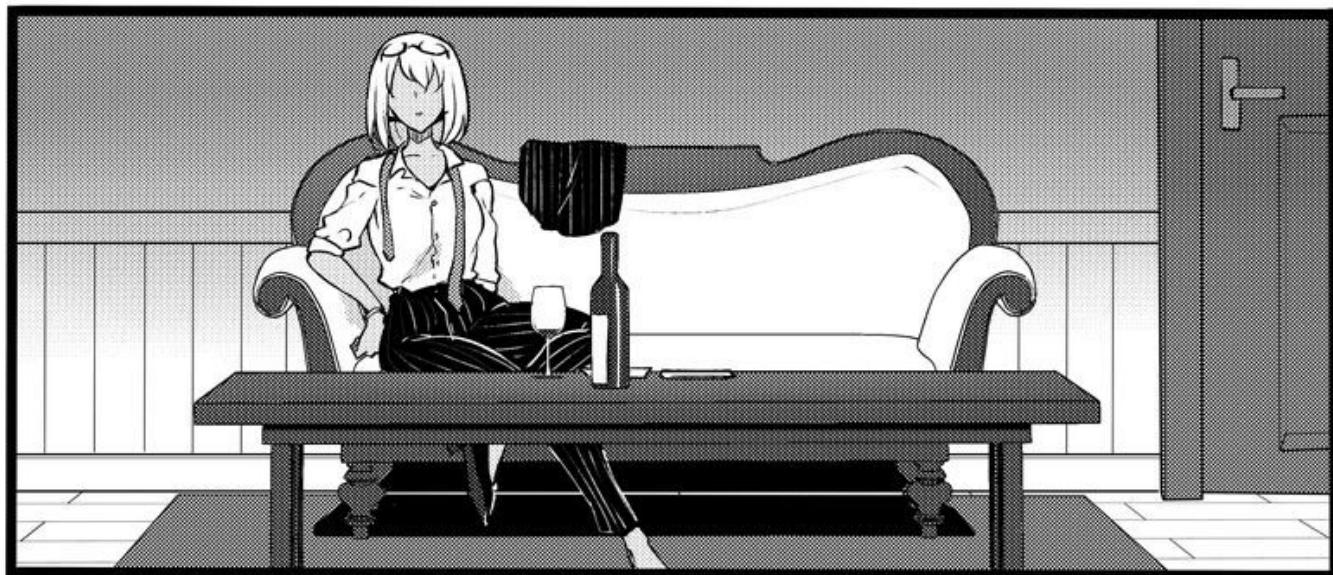
いずれかの発言が虚偽である可能性もあるが、肌や目の色など容姿の類似性も認められる。ルーツには共通するものがあるのかもしれない。

荒々しい口調と暴力的な発言が多く人を寄せ付けない。容姿の派手さも相俟って子供たちからは怖がられているが、どこか他者を思いやるような言動も窺える。



「道化の騎士ララ・ウィステリア」番外漫画です。
「道化の騎士ララ・ウィステリア File:01」～
「道化の騎士ララ・ウィステリア File:09」まで
読了済推奨の内容になっています。





テメエが最近
面倒見てる
あのガキのことか？

今更だろ。
あんな境遇のガキは
ここじゃ掃いて
捨てるほどいる。

それとも
身近で見ている
あいつは特別か？

…偽善だって
ことくらい
わかってるわ。
あまにも
不憫で…

俺アガキの頃から
ロクでもねえ
育ち方しか
してねえし、
そんなクソ溜めで
生きていたから
わかんねエけどよ。

ちょっと盲目的
すぎやしねエか？

テメエのお嬢様育ちも
ここまできると見物だぜ。

マリさんにも
似たようなことを
言われたわ。

馬鹿なことをしようと
してるなんてのも
わかってる。

それでも…

どうにかして
あげたいのよ。

理屈っぽい
あんたから
そんな台詞が
聞けるとはな。

…私の
飲みかけだけど
よかったの？

気にや
しねえよ。

まあ何をするかは
テメエの勝手だけだよ。

理屈じゃどうにも
ならないことだって
あるわよ。

…俺ア
心配してんだぜ、
ミシエル。

そんなにづらいなら
フジ機関やめちまえ。

マリさんは唯一
私の能力を
認めてくれた人よ。

私はこの業界で
結果を残したいし、
それで父に報いるべき
とも思っている。

ビジネスの付き合いなら
マリさんがどんな人か
なんて大した問題じゃ
ないと思ってた。

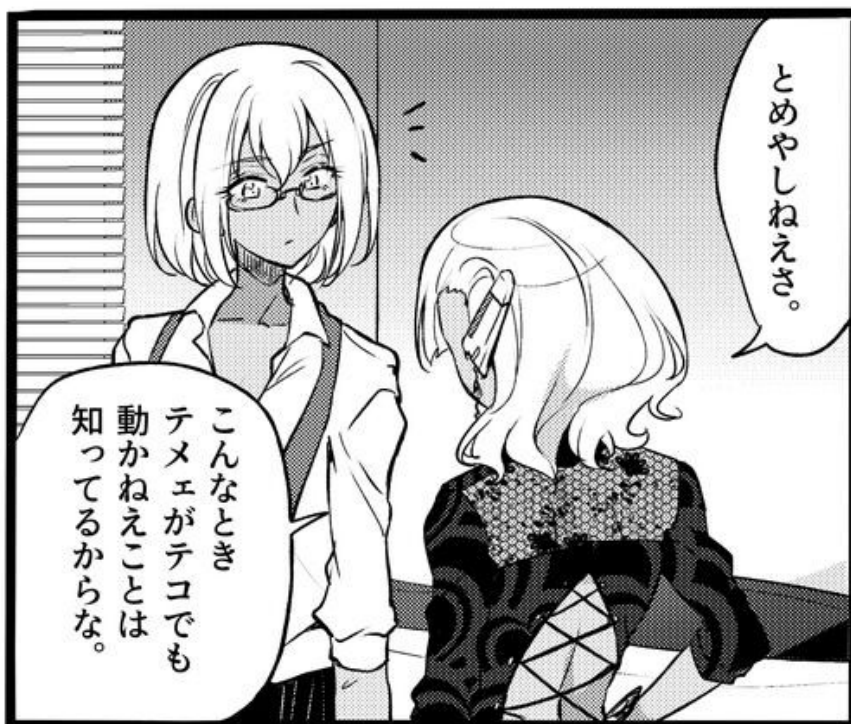
だけど…



滑稽ね。

それが自分に
向いた途端、

どうしようもなく
気持ち悪く
感じるなんて。



とめやしねえさ。

こんなとき
テメエがテコでも
動かねえことは
知ってるからな。



とにかく、
とめても無駄よ。

あの子は
マリさんの
実子じゃない。

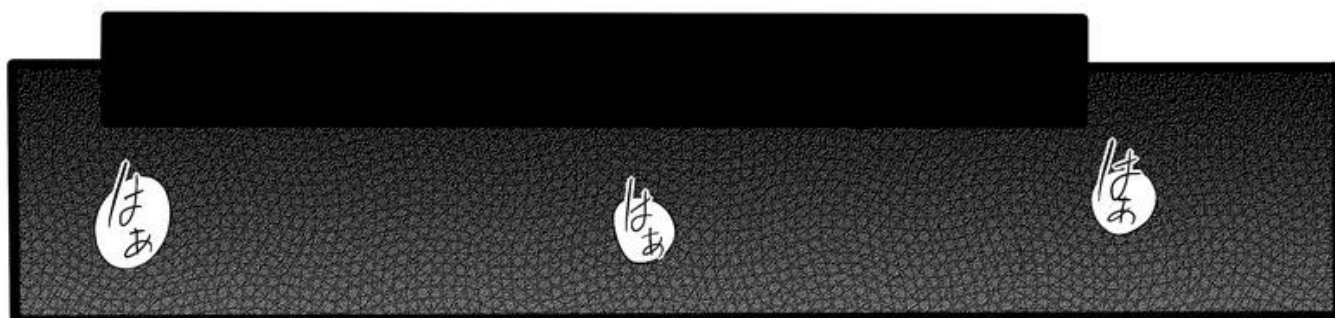
本来親権を
持つべき者が
わかれば
動きようがある。



けどよ。

テメエがあの色情魔に
なんかされた日にゃあ…

俺ア黙って
らんねえぜ。



うふふ…
物好きね。

私みたいな
貧相な身体の女でも
楽しめるなんて。

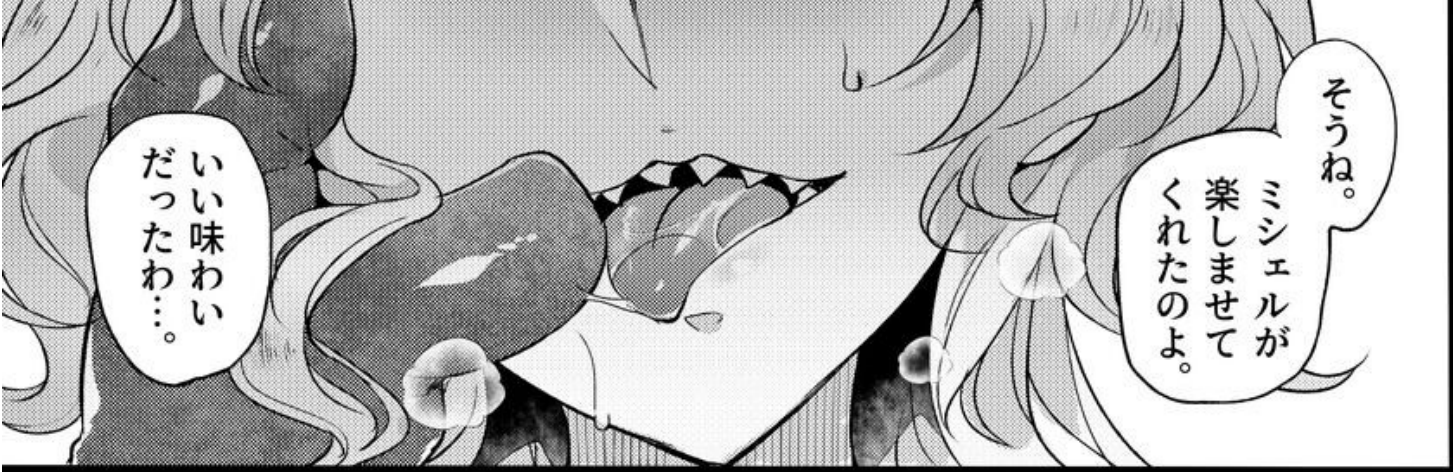
ポインもまな板も
それぞれ良さが
あるんだよ。

俺は細い女も
好きだぜ。

へえ…
そう。

それより直々に
相手してくれるたア
ゴキゲンじゃねえか。

なんか
いいことでも
あったのか？



そうね。

ミシエルが
楽しませて
くれたのよ。

いい味わい
だったわ…。



ハハッ！
あのクソ眼鏡も
食いやがったのか。

あいつが
おっかなかったのは
そのせいかな。

いつか俺にも
やらせてくれよ。

お前がかわいがってる
あのブอนด์女も
興味あるぜ。



…
フローラの
こと？

残念だけど
彼女はダメよ。
その辺のやつらには
くれてやらないわ。

ミシエルは…
そうね。

馬鹿をしでかしたら
好きにさせてあげる。



あっ……!

おー怖い怖い!
ウィステリア様は
怒らせないように
しないとなア!



なあ
ウィステリア。

このままお前の中に
ぶちまけちまっても
いいか?



……ふふ。

ええ、
かまわないわ。

今日は特別。



あー
やばいやばい……

そろそろ
限界だぜ。



よっしや来た！

へへっ
まんこブチ壊すくらい
激しくかき回して、

大量に
注ぎ込んでやるぜ！



オラオラ
オラオラッ！

出たぞ出たぞ！

ザーメン浴びながら
アクメキメやがれ！！

ふー…
めっちゃ出たぜ。

はあ

はあ

ヒロキ

また頼むぜエ
ウイステリアさんよ。

うふふ……。

